

TOTO

東陶機器株式会社

自閉水栓

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO自閉水栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みの上、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。

もくじ

安全上の注意	1
特長・各部のなまえ	2～3
使用上の注意	3
整流キヤップの掃除	4
水勢の調節	4
吐水量又は吐水時間の調節	5
手入れのしかた	5
故障したときは	6

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

本社 〒802 北九州市小倉北区中島2-1-1……………ビル電話受付台(093)951-2111
*96.4
06483円

安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

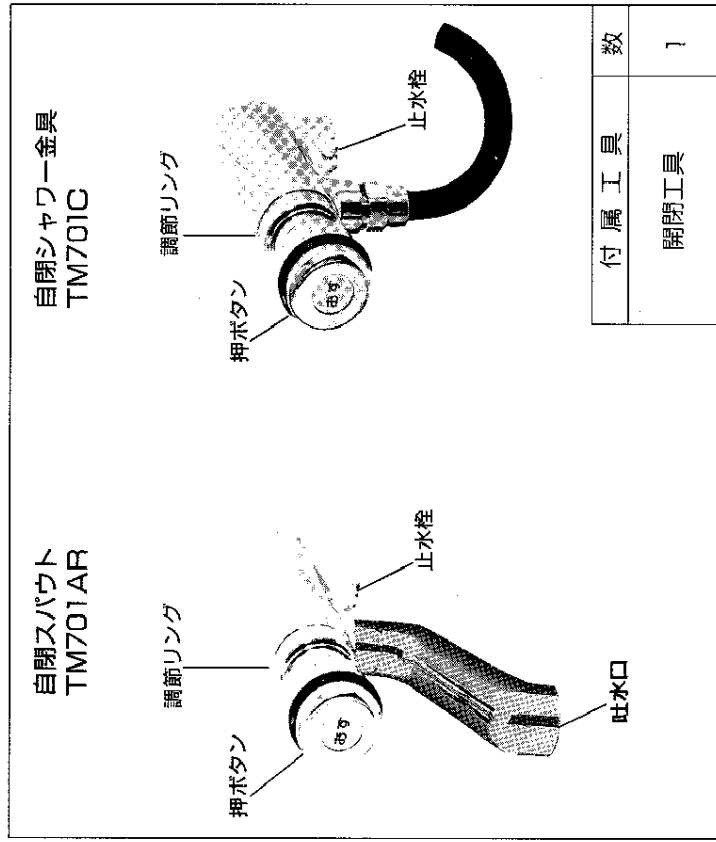
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

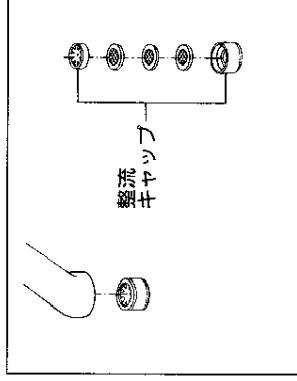
- (1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。(シャワー付)
- (2)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。直接肌を触れないでください。やけどをするおそれがあります。(カラン付)
- (3)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

特長・各部のなまえ

- 1.この製品は押ボタンを押すだけで一定時間吐水し、自動的に止水します。
- 2.衛生的で節水・省エネ効果が大きく経済的です。
- 3.吐水時間の調節が簡単に出来る調節リングを設けています。



整流キャップの掃除 (自閉スパウトの場合)



整流キャップがつかまると、水の流れが乱れたり、吐水量が少なくなりますが機能を十分発揮されなくなりますので、ときどき整流キャップを緩ませてから取出し掃除してください。

水勢の調節

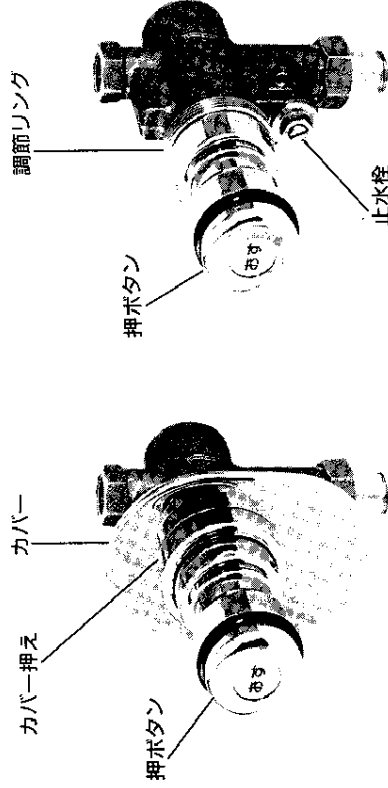
水勢の調節は止水栓で行ってください。

右回転…水勢は弱くなる。左回転…水勢は強くなる。

注：埋込形自閉弁の場合には、カバー押え・カバー・パッキンを取外してください。

4. 吐水時間の調節は、押ボタンを外さなくても出来ます。
5. 止水栓付なので、水勢の調節が簡単に出来ます。
6. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを付けています。

埋込形自閉弁
TB701

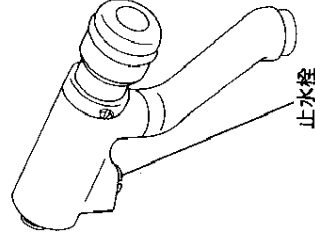


※カバー押え・カバー・パッキンを取外した外観

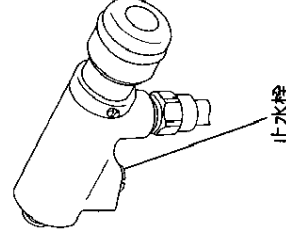
使用上の注意

熱湯をご使用の場合には押ボタン以外の金具の表面が高温になっていることがあります。金具の表面に直接肌をふれて火傷などの事故のないよう十分に注意ください。

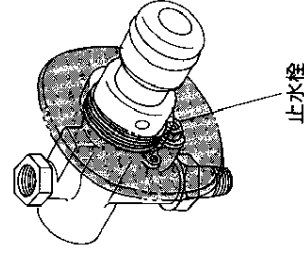
自閉スパウト



自閉シャワー金具

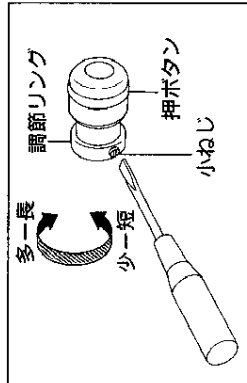


埋込形自閉弁



吐水量又は吐水時間の調節

吐水量又は吐水時間の調節は、調節リングが付いていますので次の要領で調節してください。シャワー吐水時間の最大は、毎分12ℓ程度の水勢でおよそ90秒程度です。又、1回転あたり7～10秒間程度変ります。



注：埋込形自開弁の場合には、カバー一押え・カバー・パッキンを取外してください。

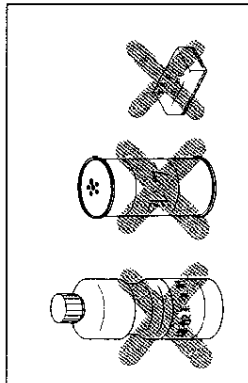
1. 調節リングの小ねじをドライバでゆるめる。
2. 調節リングを回して吐水量又は吐水時間を調節する。

右回転…多くなる。長くなる。
左回転…少なくなる。短くなる。

3. 押ボタンを押して吐水量又は吐水時間を確かめる。
4. 調節が終わったら、調節リングが回らないよう小ねじを十分に締付けてください。

手入れのしかた

めっさされた器具がいつでも美しくを保つように普段は柔らかい布でみがき、ときにはシンナーやカーワックスなどをしませた布でみがいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失いますので付着しないよう十分注意してください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびたりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みかき粉や粗い粒子を含む洗剤及びビナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときはすぐに器具を十分水洗いしてください。

故障したときは

故障したときの修理は取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

簡単な故障はお客様でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検	点検項目
水勢が強すぎる	①	① 止水栓の開度は適当か。
水勢が弱すぎる	① ⑤	② 調節リングの調節は適当か。
水が止まらない	⑤	③ 整流キャップのごみづまりはないか。
吐水時間が長い	②	④ 調節リングの小ねじがゆるんでいないか。
吐水時間が短い	②	⑤ シートにごみかみはないか。
吐水量が多い	① ②	
吐水量が少ない	① ②	
スパウトの吐水状態が乱れる	③	
調節リングが回る	④	

※点検方法は「整流キャップの掃除」、「水勢の調節」、「吐水量又は吐水時間の調節」の項を参照ください。